
KPOソウルレポート 2018年7月度

KPOソウル事務所／株式会社リンクイ
Tel:+82-2-319-5876 Fax:+82-2-319-5878
e-mail: rinkai45@hotmail.com

1. トピックス

■地震による大阪商品のキャンセルが大量発生。

- ・ 豪雨による損失状況は旅行会社のタイプにより違うようだ。大手パッケージ会社では6月の大阪地震の時にすでにキャンセルが大量に発生し、豪雨の被害ニュースが韓国のマスコミで大分ピックアップされていたが、さほど影響はなかったと言う。インセンティブ旅行を主に担当する旅行会社は予約が入る時期から、旅行実施日まで余裕がある上、一回決まって予定をキャンセルにするのも会社や団体的に難しいため、キャンセルが多くは無かったが、新規の問い合わせは確かに減ったようだ。どちらも入る新規の問い合わせは韓国のお盆(チュソク・秋夕)以降が多く、今まで続いた日本旅行業界の成長はしばらくは止まるようだ。

モードツアーによると、7月の日本旅行商品販売の実績は昨年同期間比 52%程度。現在の目標は8月には昨年の60%くらいの実績を回復させ、9月には昨年同期と同じ成績を出すことだそうだ。ハナツアーは全世界商品で言うと昨年同期間比 8.2%減少した。

- ・ 旅行業界は日本商品の不振について夏+災害があったからだと予想している。秋になり紅葉シーズンになるとある程度は実績が戻ってくるだろうとも予想。韓国国内の経済沈滞やワールドカップなどの大きいイベントも影響があったとも言われるが、災害も夏の暑さもない北海道は持続的な成長をしたのがその理由。(北海道は昨年同期間比：7~8月、7.3%の成長率を見せた)

2. マーケット情報

地方出発パッケージ商品や航空券の販売実績が大きく成長している。Gmarket や Auction によると(日本の Rakuten・Amazon のようなネット販売サイト)地方出発商品が昨年同期間比、釜山は 1154%、大田は 1132%増加したという。LCC の地方出発便が増えたので当然のことだとも思われるが、最近釜山・大田以外でも地方路線が増えているので、少し沈滞気味の日本旅行実績にこれからポジティブな影響となるのではないかと期待をしている。現在地方の空港で最も多く就航されているのは関空路線で、最も人気があるのも関空路線だ。旅行業界はせっかく就航した路線が持続できるように航空会社とコラボし、

特価商品など、PR や販売に力を入れている。

3 . メディア情報等

■日本の観光プロモーションに関する情報

・ 韓国で新たな旅行トレンドとなりつつあるのが「1 ヶ月暮らし」の旅行スタイル。これは一箇所の旅行地に長く滞在し、現地で生活する気持ちになってみることを現す。1 ヶ月という長い期間なので経費の負担が多く、それで他の国よりは負担の少ない東南アジアが人気であったが、最近トレンドが少しずつ変わっている。家族単位での「1 ヶ月暮らし」を計画する人は費用的に東南アジアか、子供の教育のためにアメリカを好むが、ひとりで「1 ヶ月暮らし」を計画する人は一人で行っても安心して観光地の多い地域を好む。航空券予約サイトのスカイスキナーの調べによると、1 人 1 ヶ月暮らし旅行で最も人気のある地域は福岡だという。その他で日本の地域で人気があったのは東京であった。これは最近人気の「1 ヶ月暮らし」の影響もあるが、日本が好きな旅行者の中では日本を一周もしくは半周したい人が多いのでその出発地として福岡や東京を選ぶ人が多いのもこの結果の出た理由の一つとして見られる。

順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
都市名	福岡	ホーチミン	バンコク	リマ	セブ
	6 位	7 位	8 位	9 位	10 位
	東京	ハノイ	ロンドン	沖縄	ウラジオストク

3 . 3 その他情報 (統計データ等)

■韓国人訪日者数 (2018/7 月 JNTO 観光統計/単位 : 人)

	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	累計
訪日韓国人数	708,300	619,200	638,500	640,400	606,100	4,016,300
前年比	18.1%	26.78%	15.1%	14.6%	6.54%	18.26%

■為替変動(毎月 1 日 韓国 KEB ハナ銀行/単位 100 円=(ウォン))

	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
売買基準率	1,012.01	992.20	978.74	980.54	1007.46	1000.18
前年比	0%	0%	-4.26%	-2.7%	-1.6%	-1.57%

以 上